

YASASHISA PROJECT



周行会は「日本一、やさしい法人」をめざしています

採用案内



一般財団法人 周行会

基本理念

出 会 い

私たちは患者さまやご家族のみなさまとの出会いを大切に、地域に信頼される財団を目指します。

おもてなし

私たちは、それぞれの分野において最善のおもてなしを心がけ、確かな安心をご提供できるよう努力を重ねます。

生命の尊厳

私たちは生命の尊さ、健康の素晴らしさを社会に発信することを職務とし、地域の医療・保健・福祉に全力を尽くします。



理事長ごあいさつ



一般財団法人 周 行 会

理 事 長 佐 藤 俊 哉

**適切な診断と治療、あたたかい看護と介護で、
トータルな治療・保健・福祉の実現を目指します。**

私たち周行会は、90年以上の永きにわたり、患者さま一人ひとりに身体的・精神的・経済的負担を与えない医療・保健・福祉を目標に、最新の技術と設備を取り入れてきました。

開設以来、仙台市の中心部とも言える現在地に位置し、上杉地区を中心とした地域医療に携わり、病院やクリニックの開設、老人保健施設の併設、在宅事業への参加、さらには各種健康診断や産業医・学校医活動など事業範囲を広げて参りました。

病気の予防や早期発見、急性期治療はもとより、リハビリテーションを中心とした回復期治療、その後の施設や在宅での看護・介護にも力を入れており、発症から治癒までのトータルな医療・保健・福祉を心がけております。

これからも地域の皆様に、さらに喜んでいただける財団を目指して、職員一同、適切な診断と治療、あたたかい看護と介護による安心の提供を念頭に置き、精一杯努力を重ねて参ります。

一般財団法人 周行会 法人概要

所在地：宮城県仙台市青葉区上杉 2-3-17

理事長：佐藤 俊哉

開設：1928年（昭和3年）

病院事業部：内科佐藤病院（一般 40 床、回復期リハ 41 床）

老健事業部：老人保健施設トラスト（入所 63 床）

在宅事業部：上杉（訪問看護、ヘルパー、在宅介護、地域包括）

クリニック事業部：上杉クリニック健診センター
あすと長町みんなのクリニック



基本方針

- 1 医療・保健・福祉の各方面から地域に貢献し、患者さまと、そのご家族の健康維持に寄与する。
- 2 高度の医療と情報を提供し、地域の中核病院として基幹病院と診療所の両方から信頼される病院を目指す。
- 3 保健においては、健診業務を中心とした健康管理を行い、病気を予防・早期発見するとともに、すみやかに適切な対応を行う。
- 4 福祉においては、ご家族のみなさまが安心して共生・介護できる環境づくり、あるいは年老いてもひとりで暮らせる体づくりのお手伝いをする。
- 5 地域住民の健康管理のみならず、情報の発信基地となり、財団法人としての社会的責任を担う。
- 6 職員は互いの持ち場を尊重し、一丸となって目標達成に向かって従事し、その成果を皆で分かち合う。

周行会の沿革

- | | |
|---------|------------------------------|
| 1928. 3 | 佐藤内科病院 開設 |
| 1954. 1 | 財団法人 周行会 内科佐藤病院 に名称変更 |
| 1997. 6 | 介護老人保健施設トラスト 開設 |
| 1997. 9 | 上杉訪問看護ステーション 開設 |
| 1998. 4 | 上杉在宅介護支援センター 開設 |
| 2003. 9 | 上杉ヘルパーステーション 開設 |
| 2006. 4 | 上杉地域包括支援センター 開設 |
| 2012. 7 | 財団法人 周行会 健診クリニック 開設 |
| 2013. 4 | 財団法人 周行会 から 一般財団法人 周行会 に名称変更 |
| 2014.10 | あすと長町みんなのクリニック 開設 |
| 2018. 4 | 健診クリニック から 上杉クリニックに名称変更 |

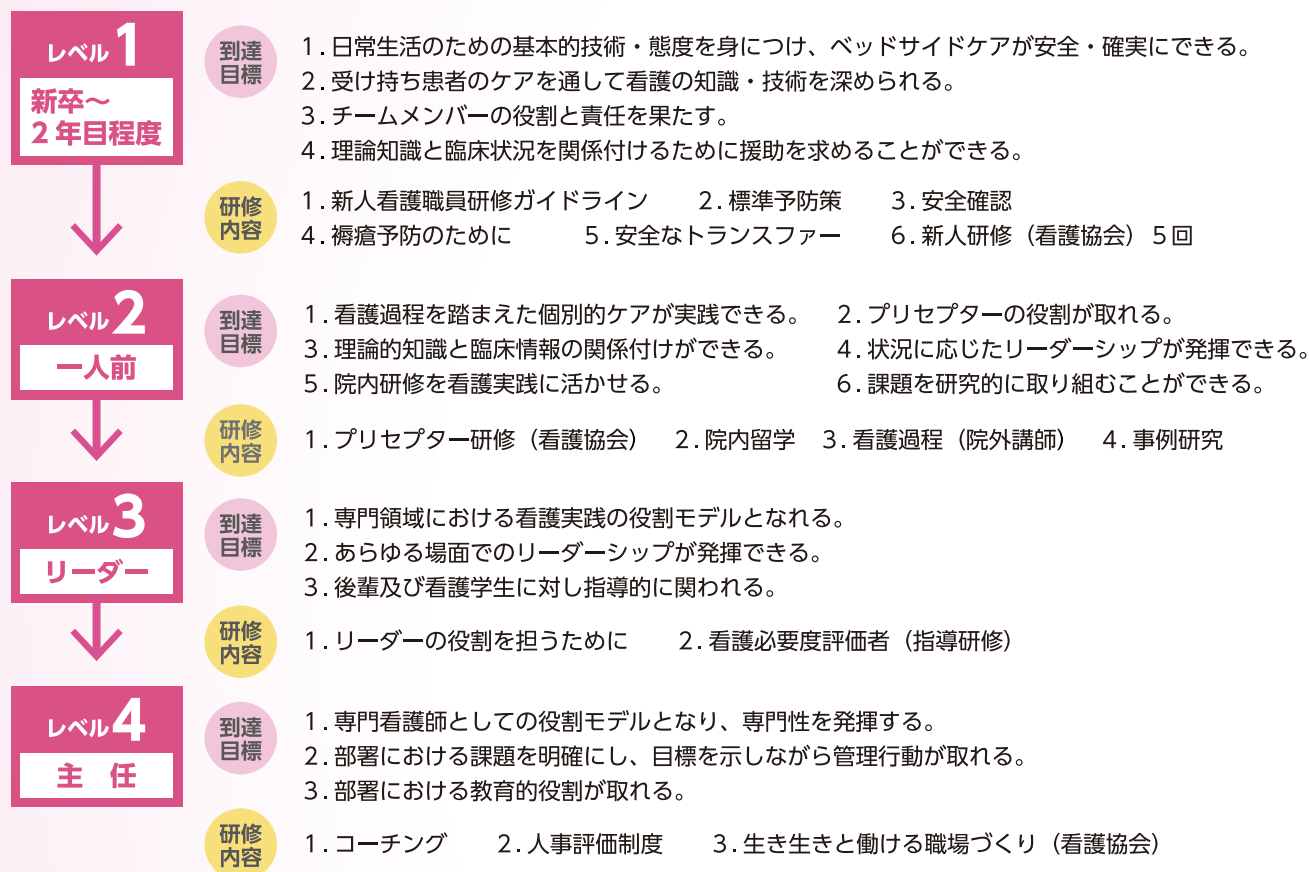
看護部

理念

看護職員の自覚と責任を持ち、組織の一員としての役割を担います。
患者さま、ご家族さまとの良い人間関係のもと、安心・安全な看護の提供に努めます。



教育目標と研修



●外 来

診察補助・検査・処置・治療や患者さま・ご家族への生活指導を行います。

●訪問診療

診療計画のもと患者さま宅へ医師と同行して診察をします。

●一般病棟

急性期病棟として急患、救急車の診療依頼に対応しています。2交代制です。

●回復期

在宅復帰を目的とした集中的リハビリテーションを受けることができる病棟です。

●訪問看護

ご自宅を訪問し、患者さま一人ひとりと向き合い、安心できる医療の提供を行います。

●老 健

病状が安定し、介護・看護・リハビリテーションを必要とする方が入所されています。

●健診センター

健康づくりや病気の早期発見のため、健康管理・増進のお手伝いをしています。

●あすと長町みんなのクリニック

内科・外科・小児科・診療補助・検査・処置と健診やワクチン接種も行ないます。

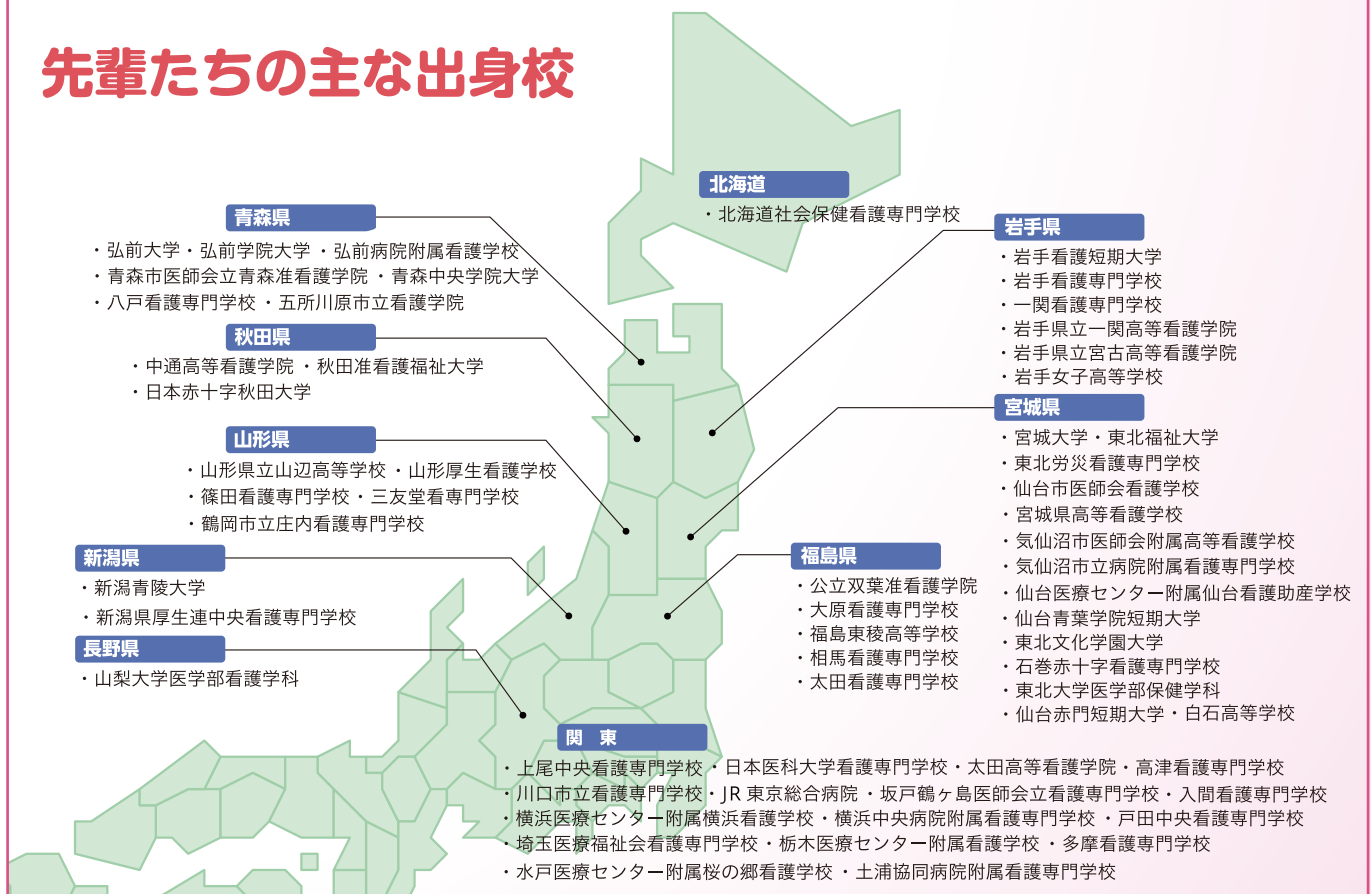




新人教育計画

実施	項目	内 容	方 法
4 月	環境調整技術	温度・湿度・換気・採光・臭気・騒音・病室整備の療養生活環境調整	講義
	食事援助技術	一般的な食事の援助	—
	活動・休息援助技術	歩行・移動介助、移送	実践トレーニング
	救命救急処置技術	意識レベルの把握、チームメンバーへの応援要請	実践トレーニング
	症状・生体機能管理技術	バイタルサインの観察と解釈、パルスオキシメーターによる測定	講義
	感染予防技術	標準予防策の実施、必要な防護用具の選択	手洗いの実施
	安全確保の技術	誤薬防止の手順に沿った与薬、患者誤認防止策の実施	ロールプレイ
		転倒・転落防止策の実施	K Y T
		薬剤・放射線暴露防止策の実施	講義
5 月	呼吸・環境を整える技術	体温調節	講義
	与薬の技術	経口薬、外用薬、直腸内与薬	講義
		皮下・筋肉・皮内注射	講義
	症状・生体機能管理技術	静脈血採血・血糖値測定と検体の取り扱い	実践トレーニング
6 月	食事援助技術	食事介助（臥床患者、嚥下障害のある患者）、経管栄養法	講義
	清潔・衣生活援助技術	口腔ケア	実践トレーニング
7 月	与薬の技術	静脈内注射、点滴静脈内注射	実践トレーニング
		中心静脈内注射の準備・介助・管理、抗生物質の用法と副作用の観察	講義
8 月	創傷管理技術	創傷処置、褥瘡の予防	講義
	感染予防技術	無菌操作の実施	講義
		針刺し事故防止対策の実施と事故後の対応	ロールプレイ
9 月	与薬の技術	輸液ポンプの準備と管理	講義
	感染予防技術	洗浄・消毒・滅菌の適切な選択	講義

先輩たちの主な出身校



We Need You!

看護部長 高橋 正子

周行会の理念に基き出会いを大切にし、
最高のおもてなしの心をもって、
心のこもった安全で安心な看護の
提供に努めています。

看護職員一人一人が仕事を通じて
やりがいを感じながら自己成長できるよう、
充実した魅力ある職場づくりをめざしています。
個人の生活スタイルと仕事の両立を尊重した
働きやすい環境づくりにも努めています。



外 来



外来は30代～50代の幅広い年齢層で子育て
世代の看護スタッフが多い部署です。

患者様に安心して受診していただけるよう
スタッフが協力し笑顔と丁寧な説明と気配りを
心掛けながら診療介助、検査、処置、治療を行って
います。

ご自宅で病気と向き合って生活されている患者
様、ご家族への生活指導や利用できる社会資源
を検討し、関連部署への橋渡しとなり、安心して
生活できるよう支援しています。

患者様を支える地域の一員として連携の中心
になれるよう取り組んでいます。

一般病棟



3階病棟は急性期病床と地域包括ケア病床のケアミックスの病棟です。入院生活を安心・安全に送っていただけるように、知識・技術・接遇の向上を目指し、丁寧な看護サービスの提供に努めています。

また、地域密着型病院・かかりつけ医として、時間外の急患や救急搬送の依頼にも対応しています。

当財団は在宅サービスにも幅広く力を入れており患者様・ご家族様の多様なニーズに対応していけるよう地域連携相談室の看護師とともに他部署との連携を図りながら在宅への退院支援に力を入れています。

回復期リハ病棟



回復期リハビリテーション病棟は、集中的にリハビリテーションを受けていただく病棟です。日常生活動作が確立できるように医師、PT、OT、ST、看護師、介護福祉士、管理栄養士、薬剤師、医療相談員がひとつのチームとなり、それぞれの専門性を活かしながら患者さま一人ひとりにあったリハビリを計画し、退院をより良い状態で迎えられるように支援していきます。

また、季節に応じたレクリエーションや定期的なイベントなどリフレッシュの時間も用意して、楽しく過ごしていただけるように工夫しています。

訪問診療部



訪問診療部は、疾病により通院が困難な方に対し、あらかじめ訪問日を決めて定期的に（月2回）医師と看護師が在宅（ご自宅や高齢者向け施設）に訪問し診療を行っている部署です。

緊急時でも対応できるよう、24時間365日体制で対応しています。

訪問看護、訪問リハビリ、訪問薬局、ケアマネージャー、連携室等の関連部署と連携を図りながら、在宅での医療サービスが提供できるよう取り組んでいます。患者様の急変等で入院が必要な場合でも、速やかに入院対応できるよう病棟とも連携しております。

安心して患者様が、ご家族様と共に住み慣れた環境で長く過ごされますよう支援しています。

訪問看護



「住み慣れた環境で暮らしていきたい」

「ご自宅で最後を迎えたい」という思いに寄り添い、看護師や、リハビリの専門員が、ご自宅に伺い医療保険は、介護保険や自費でのサービスの提供を行います。

主治医、ケアマネージャー等と連携を図り24時間体制で、医療処置はもちろん、介護相談や、栄養相談などの、様々な相談にも対応し、質の高い看護の提供を目指しています。

お一人暮らしの方も、ご家族と過ごされておられる方も、安心してご自宅で過ごすことができるよう対応させていただきます。

老 健



介護老人保健施設（老健）は医療ケアやリハビリを必要とする要介護状態の高齢者（65歳以上）が入居されております。入所期間は原則3～6か月で、食事や排泄などの介護サービスや自宅で生活するために必要なリハビリを行い在宅復帰に向けたサービスを整える役割と、終末期のケアやお看取りを担う役割もあります。

両極端ではありますが、利用者様一人ひとりの生活や背景が異なるため、医師・看護師・介護福祉士・介護支援専門員・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・管理栄養士などの多職種と連携を図り、出来る限り「その人らしさ」を取り入れた支援をしています。

上杉クリニック



健診センター

疾病の早期発見と生活習慣病の一次予防を目的に、みなさまの健康づくりのお手伝いをさせていただきます。毎週火曜日は女性限定の健診日として、女性医師・スタッフによる健診、婦人科検診を行っております。

保健師による協会けんぽの保健指導や健診の結果で精密検査や治療が必要な場合は専門病院への紹介、また、内科佐藤病院とも密に連携を図っています。受診者さまが安心して気持ちよく健診を受けていただけるよう、「おもてなしの心」を大切に笑顔で対応しています。

委員会の紹介



感染対策委員会



院内の感染ラウンドを行い、現場の状況を把握し、問題点の改善に努めています。院内の研修会を年2回開催しており、感染対策に関する知識の習得に向けて取り組んでいます。



褥瘡対策委員会



全職員を対象とした、褥瘡に関する研修会を行い、褥瘡の予防・早期発見に努めています。また、処置方法や栄養管理の全身管理について事例検討を行っています。



教育委員会



継続的なレベルアップを図れるようクリニカルラダー別の研修を企画し、支援しています。
また、スキルアップや社会の変化に即した研修会への参加の機会を提供しています。



行事委員会



患者さま・ご利用者さま向けに季節毎の院内行事を企画します。
とても楽しみにして下さる方も多いのでやりがいもありますし、楽しんでいただけている笑顔が何よりの励みになります。



研修企画委員会

全職員を対象とした研修を企画しています。
研修内容は実務に直結するものや、自己啓発に繋がるものなど様々です。



医療安全委員会

医療安全管理加算2を取得し、医療安全管理部門を設置しました。各部署から提出されたインシデントレポートの集計分析を行い、全部署が情報共有できるようにカンファレンスや院内巡視を行って再発防止に努めています。また、KYT 研修会、ポスターなどで安全に関する職員の意識向上のための活動も行っています。



認知症ケア向上委員会

認知症の患者さまが、安心・安全に治療を受けられる様に、看護職員全員が基礎知識を身につけ、適切なケアができる様に努めています。認知症ケアマニュアルを作成し、研修会を行っています。

周行会に就職したらどうなる？

福利厚生 etc

子育てをしながら安心して働く環境をサポート。

院内保育園の「北四番丁よいこの保育園」は上杉クリニック内にあり、職員だけでなく地域のみなさまにもご利用いただける保育園です。

病院から近く、行事、年齢別保育など保育活動も充実し、環境も整っています。

保護者の方々の仕事と子育ての両立を支援していきます。

一時保育も承っていますのでご相談ください。



心の健康も大事！

プロ野球楽天ホームゲーム観戦チケット、特約保養施設の助成、カウンセラーによるメンタルケア、他にも、職員食堂など。今後も充実させていきます！！

★結婚・出産・傷病

手当金、給付金、療養費 etc.

★職員の生活を守る

社会保険完備、健診、退職金 etc.



周行会では同期会を大切にしています。

同期の存在はとても心強いもの。年齢や職種の垣根を越えて、悩んだ時、困った時は助け合える関係を築いて欲しい、そんな思いから始まりました。

事務部

総務課



入退職の手続きや、給与・社会保険の管理、物品や建物・設備の管理など、職員の働きやすい環境作りを行います。

保険事務課



受付や医師事務、クランクなど業務内容は多岐に渡ります。正確な作業能力だけでなく、対応・処理の素早さと笑顔が求められます。

財務経理課



経営計画に基づいた予算作成や資金管理。日々の入出金の対応や決算など行います。

情報管理課



診療記録及び診療情報を適切に管理し、そこに含まれる情報を活用する事により医療の安全管理・質の向上及び病院経営管理に寄与する専門的な業務です。

法人企画部

YASASHISA PROJECT 
周行会は「日本一、やさしい法人」をめざしています



周行会職員の一人ひとりが、患者さま、利用者さま、そしてご家族のみなさまへやさしさをもって関わりあい、「日本一、やさしい法人」となるための企画・実行・具現化を行う部として法人企画部が設立されました。「日本一、やさしい法人」を目指していくことを社会に発信しています。

リハビリテーション部

理念

患者さまと正面から向き合い、
生活の質の向上に努め、笑顔を咲かせます。

一般病棟・回復期病棟リハ

病院



帰る意欲を現実に

急性期から回復期まで携わり、退院後の生活を念頭にリハビリテーションを展開しています。
脳血管・廃用・運動器・呼吸器・がんなどの様々な疾患の方々にリハビリテーションを提供しています。
回復期リハ病棟には、認定専門医を配置し365日セラピストが多職種協働のもと対応し、在宅・復職へ向けた支援に取り組んでいます。

入所リハ

老健



もう少しを実現し、いつもの自宅へ

個々に応じたリハビリ計画を提供、実施することにより、利用される方の能力を最大限引き出せるよう支援しています。
在宅復帰を目標に自宅で必要となる生活動作・食事・言語・認知機能のリハビリテーションをPT・OT・STそれぞれの分野で実施しています。



リハビリテーション部

リハケアセンター



途切れないリハビリテーションを目指して

リハケアセンターは、リハビリテーション医による各種診察や施設等への往診、外来・短時間通所・訪問におけるリハビリテーションを行っています。
様々な機械を取り入れてのマシーントレーニングやリラクゼーション効果のあるウォーターベッドでの温熱療法も導入していますので、みなさま意欲的に取り組み、活気に満ちています。多職種によるチームでのアプローチを行い、個々の生活環境に合わせたリハビリや運転支援まで、患者さま・利用者さまに寄り添ったリハビリを提供できるよう対応しています。

訪問看護



いつまでも快適な在宅生活を

訪問看護師と協働し、リハビリ専門職種が、住み慣れたご自宅でのリハビリサービスをお届けしています。当法人併設の事業所と連携を強化し、サービス開始前から直接医師及び担当スタッフに状況を確認し、今後の方針まで協議しながら進めています。
地域のサービス機関と連携をとり専門的な支援を積極的に実践しています。

3つの目標

- リハビリを実施しているすべての患者さま・利用者さまに対し、障害に合わせた適切な時間・内容を選択し提供します。
- 患者様・利用者様・ご家族様（保護者）主体のリハビリを提供し、安心して退院退所後の生活が送れるよう支援します。
- 病院・老健・住宅・クリニック部門間の情報共有を強化し、途切れないリハビリテーションの支援を行います。

理学療法士



基本的な動作および活動練習から歩行練習、復職に向けた院外練習、公共交通機関の利用、自宅環境の調査・提案を行い、ADL（日常生活動作）の改善、QOL（生活の質）の向上を目指します。

住み慣れた街で自分らしく暮らしたいという、一人ひとりの想いを大切にし、取り組んでいます。

作業療法士



早期から多職種と協働し、入浴評価を行うなど積極的な ADL 練習を行います。実際に買物から調理までといった IADL 練習も行い、在宅復帰を見据えた取り組みを行います。また、手足の麻痺への IVES（随意運動介助型電気刺激装置）を用いたリハビリの導入や、自動車運転再開のための支援もチーム一丸となって取り組んでいます。

言語聴覚士



食べる・話す・聞くのスペシャリストとして VF（嚥下造影検査）による食形態の検討、言語障害や高次脳機能障害に対しても多職種協働で行います。また、復職に向けてのパソコン・携帯電話操作・運転評価等を行い、医療・介護・在宅とスタッフ間の連携も密にし、自分らしい生活ができるよう社会生活を支援します。

グランドデザイン

外来入院リハビリテーション

内科佐藤病院との連携

〈一般病棟〉

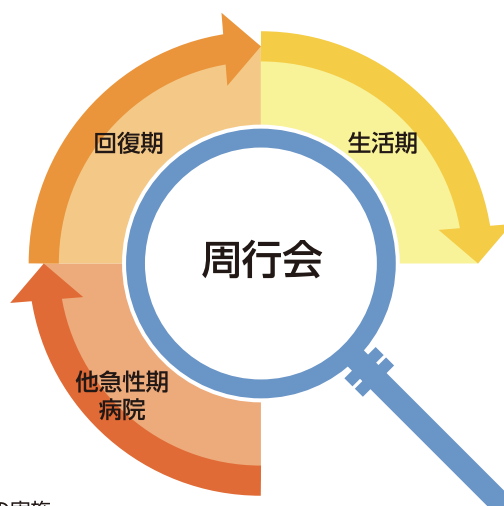
- 急性期の疾患別リハビリ
- がんリハビリテーション
- 摂食機能療法の実施
- 在宅機能の後方支援
- 身体機能の維持・向上

〈回復期リハ病棟〉

- 専門医師による、チームアプローチの実践
- 365 日の個別リハビリの実施
- 在宅復帰を目標とした入院
- 外出練習・家屋評価・家族指導

〈リハケアセンター〉

- 外来・短時間通所・訪問リハビリの実施
- 個々の病状や経過、ライフスタイルに合ったサービスの提供



入所リハビリテーション

老健トラストとの連携

〈入所リハ〉

- 在宅復帰を目標とした入所生活
- 365 日の個別リハの実施
- 認知症に対するアプローチ

訪問リハビリテーション

訪問看護との連携

〈訪問看護（リハ）〉

- 在宅生活のリハビリ的支援
- 身体機能の維持
- 各専門職によるリハビリ実施と家族指導

診療支援部

周行会の事業に幅広く携わる、基幹部署の1つです。

薬剤師



内服薬や注射薬等の調剤業務を行うだけでなく、医薬管理や医薬情報管理も行い、院内医療チームへ参画しています。

管理栄養士



患者様・利用者さま一人ひとりに合わせた安心・安全でおいしい食を提案・提供しています。

社会福祉士



病院の入退院の調整や退院先について患者さまやご家族さまのご要望等を相談しながら調整しています。

臨床検査技師



生化学・血液・尿等の検体検査や、心電図等の生理検査を医師や看護師と連携して行っています。
健診クリニックでの生理検査業務も行います。

診療放射線技師

医師の指示の下、放射線を用いてCT検査やエコー検査を行います。



老健事業部 施設入所

理念

精神的、身体的、社会的の三位一体の自立を目標とし、スタッフ一丸となったリハビリの提供に努め、在宅支援施設として核となるサービスを提供します。

ケアワーカー



移動・食事・清潔などに関する日常的なケアを提供する専門職種です。『介護職員』には、国家資格である介護福祉士と介護職員初任者研修修了者がいます。

セラピスト



365 日体制で、それぞれの専門性を活かし、理学療法士は主に運動機能を、作業療法士は主に精神心理機能を、言語聴覚士は主にコミュニケーションや嚥下機能を、維持・向上させるためのプログラムを実施します。

支援相談員



相談窓口的な機能を担っています。その人らしく地域で暮らしていくために必要な社会的サポートや、家族と施設、家族と利用者といった関係をコーディネートします。入所者の受け入れ、日常的な相談、家族からの相談にのり、利用者をサポートします。

介護支援専門員



施設サービス計画書の作成の中心となり各職種との連携の核となります。お客様の気持ちを汲みとり、一人ひとりに合ったサービスをお客様と一緒に考えます。

看護師



医師と協力して利用者の医学的管理を行うとともに、医学的知識を活かして適切なケアのあり方を検討します。

医師



利用者の医学的管理を行います。診断や治療、利用者の状態を把握した上での看護職やリハ専門職への指示を行います。

管理栄養士



利用者の栄養状態の維持・向上のために、食事に関するすべてのことをコーディネートします。栄養状態のアセスメントと維持・向上のためのプランづくり、状態像に合わせた食形態の設定などを、他職種と協働して行います。

介護保険事務



事務職は施設の窓口機能、施設運営の基礎となる事務部門を扱います。老健の場合、事務職もケアチームの一員として機能し活躍しています。

在宅事業部

理念

心から安心できる暮らしをサポートします。
介護に関するサービスからご相談まで、すべてお任せください。

上杉訪問看護ステーション

【いつでも】【すぐに】手の温もりが伝わる暖かい看護を目指しています。



ご自宅での看護、介護サービス、リハビリテーションをお届けします。
病院やけがなどで寝たきりになる心配のある方、医療処置が必要な方などにご利用いただけます。
一人ひとりに合ったケアを、他の市・町・村の保健師、保健所の保険・福祉サービスなどと連携を取り、お客様により少ない負担でより良い看護をご提供致します。

上杉地域包括支援センター

地域の高齢者のみなさまの総合相談窓口です。

仙台市より受託し、上杉山中学校地区にお住まいの高齢者のみなさまが健やかに住み慣れた地域で暮らしていけるよう、介護・福祉・医療等様々な面から総合的に支えるための地域の総合相談窓口です。



上杉ヘルパーステーション

快い、心地良い、心強いをモットーに、在宅生活をサポート致します。



介護福祉士や初任者研修修了の資格を持つスタッフがご家庭を訪問し、住み慣れたご住居での生活をサポート致します。ご本人さまの生活リズムを大切に、ご家族のみなさまを含めたそれぞれのご希望、ご相談にできる限りお応えできるよう努めています。

上杉在宅介護支援センター

要介護認定の申請代行、介護保険に関することは何でもご相談ください。

担当ケアマネージャーがご自宅を訪問し、ご本人様やご家族さまの希望、不安などをしっかりと聞きし、医療・福祉の連携を図りながらケアプランの作成を行います。要介護認定の申請代行や、介護保険に関することは何でもご相談ください。

笑顔とふれあいを大切に、まごころのこもったサービスをご提供致します。



クリニック事業部

周行会 上杉クリニック 健診センター



みなさまの健康を、全力でサポートいたします。

健診センターでは、ご利用者さまのニーズにあわせた健診コースをご用意しています。
最新の医療機器・知識・技術、おもてなしの心を備えたスタッフが、みなさまの健康管理の
お手伝いをさせていただきます。

毎週火曜日、第2金曜日、女性医師による健診、婦人科検診も実施しています。（レディースデイ）

あすと長町 みんなのクリニック



**子供から高齢者、内科から外科まで幅広く診る、
地域『みんな』のかかりつけ医です。**

地域のみなさまの体や心のことをなんでもお気軽にご相談いただけるようなクリニックを目指しています。

第1・第3・第5日曜日診療実施。



一般財団法人 周 行 会

〒980-0011 仙台市青葉区上杉 2-3-17

TEL : 022-221-5566

FAX : 022-221-8007

周行会



<http://www.shukokai.or.jp>



スマホで
アクセス !!

